

学生の修学状況（中退者・休学者）等に関する調査（令和3年度末時点）

別紙 3

- ◆ 調査対象：全国の国公立大学（短期大学を含む）及び高等専門学校（回答率96.0%）
- ◆ 調査時点：令和3年度末時点
- ◆ 調査趣旨：各大学等における経済的に困難な学生に対する支援状況や中途退学者・休学者の状況等について調査

1. 令和4年度前期の授業料の納付猶予・減免の実施状況について

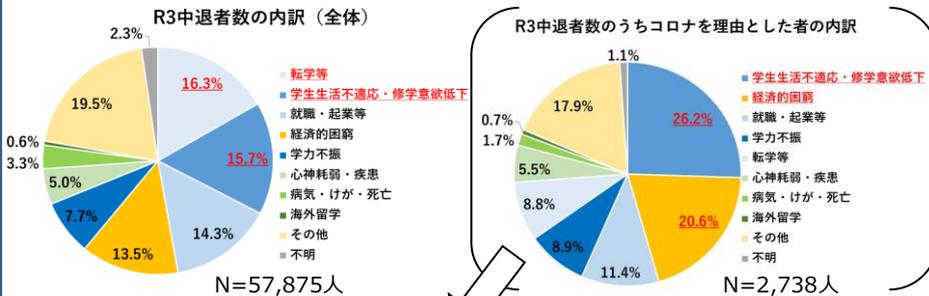
- 令和3年度に引き続き、令和4年度前期についても各大学等において授業料の納付猶予や、大学独自の授業料等減免を実施予定。
- ・ 全体の95.6%の大学等において前期分の授業料の納付猶予を実施又は実施予定。（全体の75.6%の大学等で納付期限を7月以降に設定。）
- ・ 高等教育の修学支援新制度に加え、全体の53.6%の大学等において、経済的に困難な学生を対象とした各大学等による独自の授業料等減免を実施又は実施予定。

2. 中途退学者の状況（1年間の状況を比較）

- 中退者数の割合は、令和3年度は令和2年度と変化はなく、コロナ前の元年度より低い。ただし、コロナを理由とした中退者数の割合は、令和2年度と比べて若干増加している。

大学 (大学院生 含む)	R3年度 (4月～3月)	R2年度 (4月～3月)	R元年度 (4月～3月)
中退者数	57,875人 (2,738人)	57,913人 (2,024人)	74,129人
学生数に 占める中退 者数の割合	1.95% (0.09%)	1.95% (0.07%)	2.50%

※ R2年度、R元年度の数値は過去の調査結果より引用
 ※ 括弧内は、そのうち新型コロナウイルス感染症の影響によるものと回答があった者の数/割合



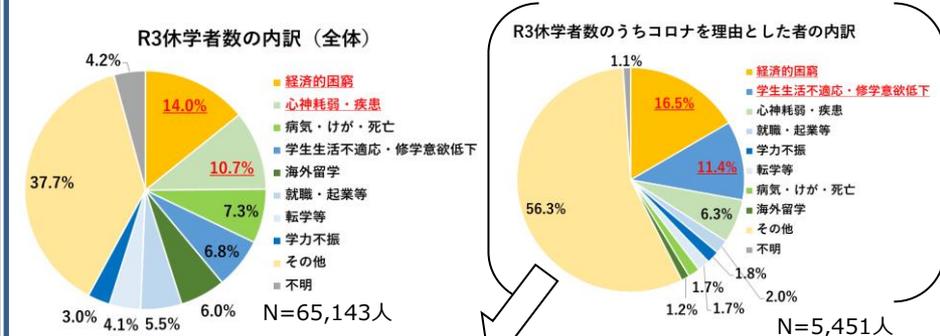
- 中退者のうちコロナを理由とした者の内訳としては、令和2年度と比べ、
- ・ 学生生活不適応・修学意欲低下は増加（+2.7ポイント（R2:23.5%））
- ・ 経済的困窮は減少（-9.8ポイント（R2:30.4%））

3. 休学者の状況（1年間の状況を比較）

- 休学者数の実数及び割合は、令和3年度は令和2年度に比べて減少し、引き続きコロナ前の元年度より低い。ただし、コロナを理由とした休学者数の割合は、令和2年度と比べて若干増加している。

大学 (大学院生 含む)	R3年度 (4月～3月)	R2年度 (4月～3月)	R元年度 (4月～3月)
休学者数	65,143人 (5,451人)	67,034人 (4,627人)	72,287人
学生数に 占める休学 者数の割合	2.19% (0.18%)	2.26% (0.16%)	2.45%

※ R2年度、R元年度の数値は過去の調査結果より引用
 ※ 括弧内は、そのうち新型コロナウイルス感染症の影響によるものと回答があった者の数/割合



- 休学者のうちコロナを理由とした者の内訳としては、令和2年度と比べ、
- ・ 学生生活不適応・修学意欲低下は増加（+2.9ポイント（R2:8.5%））
- ・ 経済的困窮は横ばい（+0.2ポイント（R2:16.3%））